



発行者 一般社団法人 群馬県手をつなぐ育成会  
会長 江村 恵子

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター5F  
TEL 027-255-6212・FAX 027-255-6241  
印刷所 朝日印刷工業(株) ☎ 027-251-1212

## 親なき後を考える 講演会の開催

令和四年十二月一日(木)にオンライン配信により「親なき後を考える講演会」を開催しました。

講師には「障害のある人と援助者をつくる日本グループホーム学会」代表の荒井隆一氏を迎え、「グループホームの現状と課題」について講演をいただきました。

荒井氏は千葉県にありまます社会福祉法人ロザリオの聖母の会 ナザレの家あさひ所長を務められ、暮らしやすいグループホームを作るため学会の代表として活躍されています。

### 「親なき後を考える」講演会



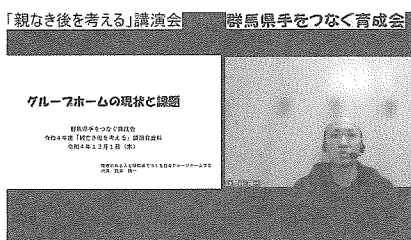
群馬県手をつなぐ育成会  
開会挨拶 (江村会長)

県育成会では毎年親なき後をテーマに講演会を開催していますが、今回は県内にも増えているグループホームについて研修したいとの要望を受け、講演会を実施しました。

講演ではまず、グループホームの制度の変遷について説明があり、入所施設中心の時代、巨大施設の建設を経てノーマライゼーションの時代となつていとお話がありました。

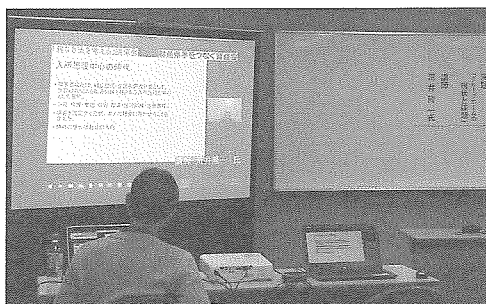
グループホームの入居者も全国で十万人を超える中、各都道府県毎の人口十万人当たりのグループホーム利用者の割合に大きな開きがあり、サービスを受ける権利・公平性の格差が生まれていると現状について問題提起されました。

続いて、制度的には国連の権利条約が採択され、障害者基本法の改正、障害者差別解消法の成立など改善されてきたが、まだまだ障害者の自立生活の実現には至っていない状況にあるとお話がありました。



講演 (荒井隆一氏)

今後のグループホームの在り方について「ふつうの暮らしがしたい」という本人の願いが基本。多くの本人の声を聴いてください。少人数と管理性の排除はグループホームの命です。障害があるという理由で願いが切り捨てられる理不尽を決して許さないという覚悟を支援者は持ち続けて欲しい」と考えを述べられました。



講演後のアンケートでは「グループホームの利用者が施設利用者を上回っているなど現状が分かり良かった。障害者の暮らしを考える上で、本人の願いを基本に考えることが大事だと感じた」など多くの感想が寄せられました。

今後とも親なき後をテーマに講演会を開催し会員の皆様と情報を共有し、不安の解消に努めたいと思いますので、今後とも多くの皆様のご参加をお願いします。

## 知的障害への 理解促進セミナー の開催

令和五年一月二十六日（木）に「知的障害への理解促進セミナー」をオンライン配信により開催しました。講師には石川県にありまます社会福祉法人佛子園B's行善寺代表の速水健二氏をお願いし「ごちやまぜのまちづくり」と題してZoomによりご講演をいただきました。



講演（速水健二氏）

県育成会では毎年セミナーを開催していますが今回は正に知的障害者が地域で安心して共に生活できる共生社会のモデルとして、石川県での地域一体となった取組を紹介していただきました。この取組は、全国的に特出したもので地域医療福祉連携の住民自治モデルの成功事例として、テレビでも取り上げられているものです。

講演では平成二十六年からこれまでも取り組んできた「ごちやまぜのまちづくり」について、具体的に紹介していただきました。B's行善寺では障害のある人の就労や日中活動支援、高齢者のデイサービス、保育園など様々な福祉サービスを行うとともに施設には天然温泉、フィットネスクラブやそば屋、カフェ、花屋、診療所が併設され、地域住民も自由に出入りできるようにしています。

講演の中で、講師は地域を巻き込んで福祉を進めるためには「向き合うのではなく、同じ方向を見ること」が重要である」と強調され、「現場では、どうしても向き合って頑張ろうとなりがちだが、一緒に町を元気にしようとか、一緒に楽しもうという考え方が大事である」と説明され、併せて人間関係を構築することにも力を注ぎ、支援を行っている」と説明がありました。



また、「地域と共生するためには町中の人を頼ることも大事である」とお話があり、この施設では福祉の専門家だけでなく就労を通して障害者の支援をしていただいて運営がうまくいっているとのことでした。最後に、「こうした取組が群馬県内でも太田市で計画されているとのことのお話があり、期待が膨らみました。」

講演後の質疑では「コロナ禍で人々の分断を招いていると言われていますが、かえって絆が深まった事例がありますか」との質問に対し「コロナ禍で大変な状況にあるが、私達ができることをしようと施設のマスクを自治体に配り、地域の方から大変感謝され、その後、地域の協力を得られ絆が深まった」と回答がありました。

講演を聴いて群馬県内でもこのような「ごちやまぜのまちづくり」の取組が行われ共生社会の実現に一步でも近づけば良いと感じました。

この講演会の模様は二月末までユーチューブでアーカイブ配信しますので、是非ご覧ください。

### 全育連から自閉症に関する本が出版されました

この度、全育連から「自閉スペクトラム症マイペースなきみに家族はすったもんだ」が出版されましたのでご紹介します。A5版一〇四ページ オールカラー 定価一、四三〇円（税込み）

購入申込は県育成会事務局までお願いします。

### 自閉スペクトラム症 マイペースなきみに



自閉スペクトラム症。その、ひとくりの言葉の中にも、無数の個性がある。強烈なこだわり、大胆な発想、研ぎ澄まされた集中力…“普通”じゃない、ということ。それは同時に、可能性だと思ふ。



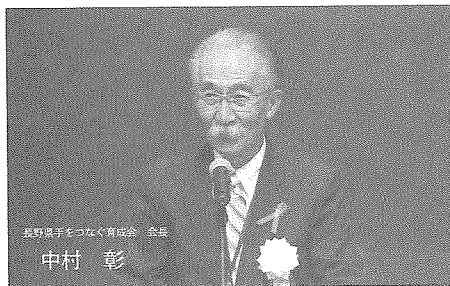
株式会社ベリハニー代表取締役 松田崇弘氏 松田文雄氏推薦

中央法規

## 関東甲信越ブロック 長野大会の開催

令和四年十月二十二日(土)に第五十六回手をつなぐ育成会関東甲信越大会(長野大会)がホクト文化ホール(長野市)で開催されました。前回大会は群馬県でハイブリッド方式で開催したところですが、今大会はコロナ対策を十分施した中で、対面で開催されました。

県育成会からは江村会長はじめ前川、茂木副会長、塩崎前橋市手をつなぐ育成会会長ほか、各支部からも多数ご参加をいただきました。主会場では二百名を超える参加者があり、併せて開催された本人参加イベント(県立美術館までの街歩き)にも二十九名の参加がありました。



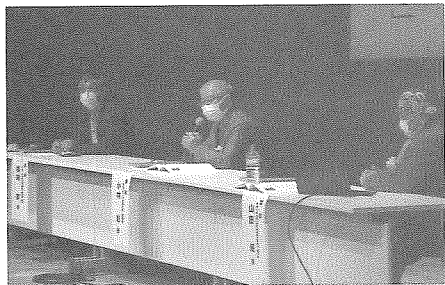
長野県手をつなぐ育成会 会長  
中村 彰

式典では主催者である長野県手をつなぐ育成会中村会長の力強い挨拶に始まり、来賓(長野県、県議会、長野市、全育連)から祝辞が述べられました。



全国手をつなぐ育成会 会長  
久保 厚子

その後、鼎談・座談会が「地域生活移行の過去・現在・未来」をテーマに開催され、これまでの歩みを振り返るとともに今後の共生社会に向けた展望が語られました。



最後に次期開催県である栃木県手をつなぐ育成会の小島幸子会長から、今回の開催日程について報告があり、大会は盛会のうちに閉会しました。

○次回関東甲信越ブロック栃木大会  
開催日 令和五年十一月十八日(土)  
場所 栃木県総合文化センター

### 「手をつなぐ」(冊子)購読のご案内

「手をつなぐ」は全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している機関誌です。

知的障害のある人の暮らしに役立つ最新情報が満載で、毎月ご自宅にお届けします。購読申込を毎月十五日までにいただきますと次号からお届けできます。

○年間購読料 三千九百円  
申込は県手をつなぐ育成会事務局までお願いします。



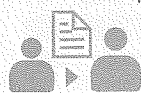
一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の皆様へ

## 手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です

特長1



代理手続き  
代理告知が  
可能

障がいのある方向けプラン

特長2



告知対象  
疾患の緩和

障がいのある方向けプラン

特長3



成年後見  
費用を補償

障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険の愛称です。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

【お問い合わせ先取扱代理店】

・ゼンチ共済株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5  
九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850 FAX: 03-6910-0851

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

MAIL: [gan@z-kyosai.com](mailto:gan@z-kyosai.com)

(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一東部東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL: 03-3515-4126(営業時間: 平日9:00~17:00)

2022年5月作成  
22-TC00935

## 第七回全育連 全国大会福井大会の開催

令和四年十一月二十日(日)に第七回全育連全国大会福井大会が福井県民ホールで開催されました。この大会は三年ぶりに対面方式で開催され、コロナ禍を考慮し参加者を限定した形で執り行われ、本県育成会からは理事として江村会長が参加しました。

大会スローガンを「育成会活動は立ち止まらない」新たな一歩を福井から」と掲げ、中央情勢報告のあとコロナに負けない力強い大会決議が採択され、ウイズコロナの時代を見据え、全国に新たな一歩を発信する大会となりました。

最後に次期開催地として愛媛県手をつなぐ育成会岡部会長から挨拶があり閉会となりました。

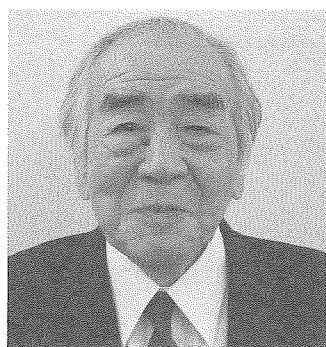


県育成会理事(富岡市手をつなぐ育成会会長)岩井三千夫氏が全国大会会長表彰を受賞されました

十一月二十日に開催された全国大会(福井大会)において、群馬県手をつなぐ育成会理事であり富岡市手をつなぐ育成会会長の岩井三千夫氏が全国手をつなぐ育成会会長表彰を受賞されました。

岩井氏は平成十一年に富岡市手をつなぐ親の会会長に就任し育成会活動に尽力されるとともに、平成二十七年からは県育成会の理事を務められ知的障害者の福祉の向上に大きく貢献されてこられました。これらの功績が認められ今回の受賞となったものです。

これまでの功績を称えるとともに、ますますのご活躍をお祈りします。



(岩井三千夫氏)

## 県育成会今後の 行事予定

### ○障害基礎年金学習会

日時 令和五年二月二十四日(金)  
午後二時

場所 県立太田高等特別支援学校

### ○関東甲信越ブロック代表者会議

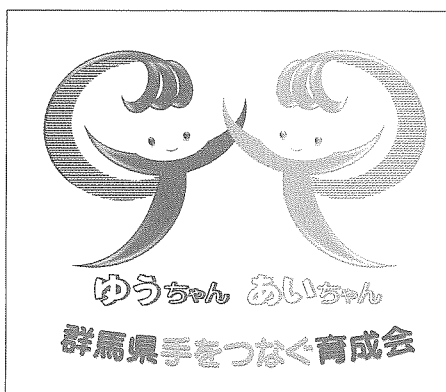
日時 令和五年三月十五日(水)  
午前十時

場所 オンライン参加

### ○県手をつなぐ育成会第二回理事会

日時 令和五年三月二十日(月)  
午前十時

場所 県社会福祉総合センター  
二〇三A B会議室



## 知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援  
●権利擁護に関する相談支援 ●3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

### 生活サポート総合補償制度

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

病気やケガで入院したとき  
入院給付金

病気で死亡したとき  
疾病葬儀費用保険金 ※プランによって補償します

虐待・逮捕・勾留に対応するとき  
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

ケガをしたとき  
死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金  
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき  
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき  
職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します

### 保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビル2号館 2F

TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774

受付時間: 午前9時~午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

東京第二プロチャネル営業部

〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階

TEL: 03-6894-9110

受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

### ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 群馬県知的障害児者生活サポート協会

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13番12号

群馬県社会福祉総合センター5階

TEL: 027-288-0120 FAX: 027-288-0121

受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

http://www.gunsapo.jp/

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)